

2022.05.21 (9:00~9:30)
シーガイア・コテージ・ヒムカ (宮崎)
Seagaia meeting 2022

DAY2 午前

千年カルテの二次利用促進活動

糸 直人, 博士 (情報学)

特定准教授

京都大学 大学院医学研究科 EHR共同研究講座

kume@kuhp.kyoto-u.ac.jp

桑直人 (情報学)

- 京大病院・医療情報企画部 (7年)
 - EHR共同研究講座
 - Electronic Health Record
 - **2013年度～2022年度 (10年)**
 - 共同研究企業
 - 製薬会社, 検査会社, 電子カルテベンダー, Sler
 - 12社
 - スタッフ2～3名
 - NPO法人 日本医療ネットワーク協会 (JMNA)
 - 千年カルテプロジェクト (2015年～)
- ライフデータイニシアティブ (LDI)
- 2019年12月 匿名加工医療情報作成事業者
 - データを売って良い
 - 実名データを集めて良い

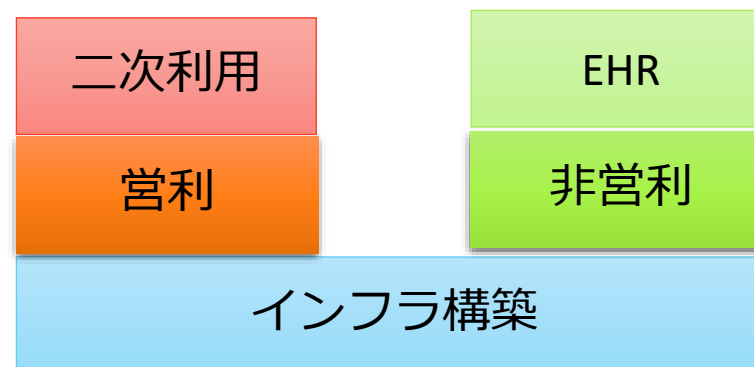




- 国民の健康・医療情報を永続的に蓄積しデジタル資産として存続させるために、
- EHR基盤を構築し、【情報インフラ】を維持するためのビジネスモデルを確立する。
- データの利活用からの収益モデルを健康・医療情報においても実現する必要がある

←さまざまな収益モデルを取り込み，千年カルテで実現できるサービス
と戦略を『現場に入ってフローを考え実践する』

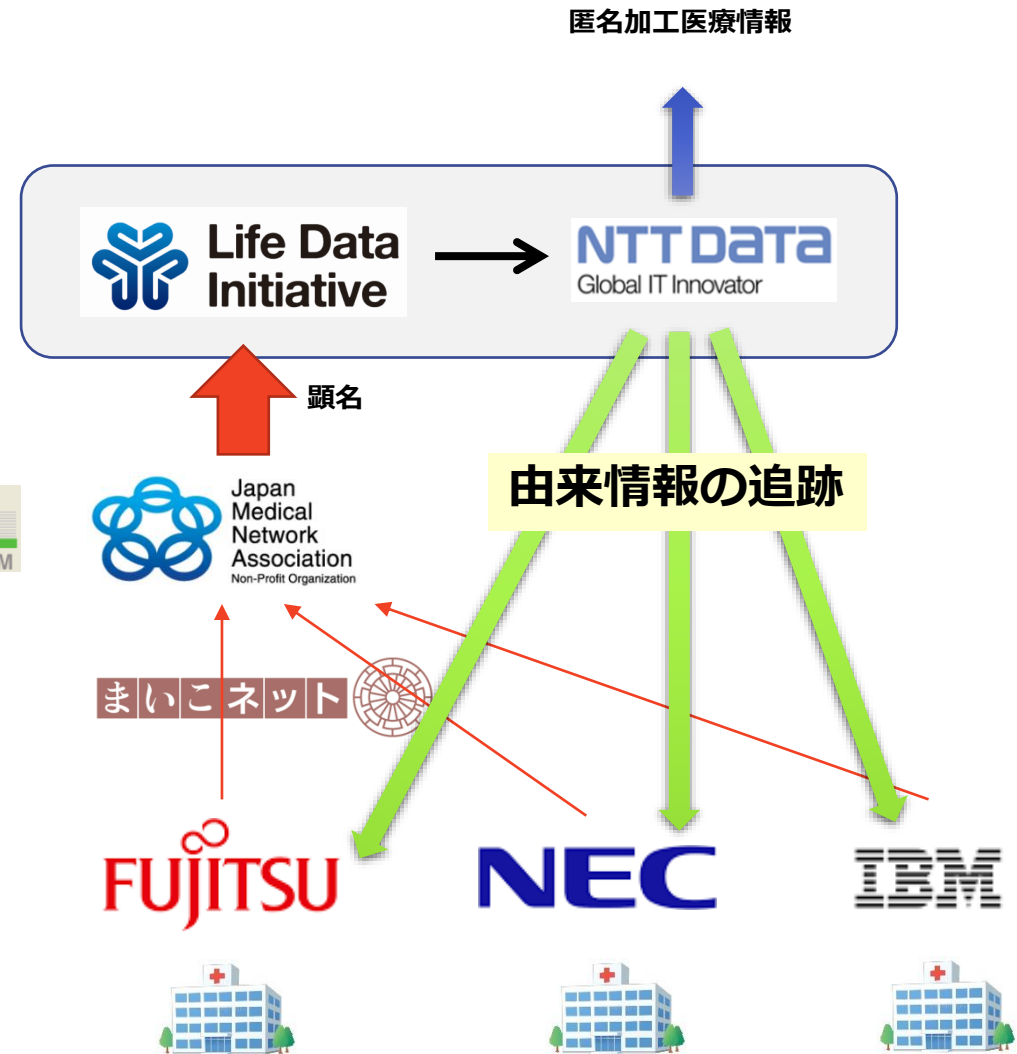
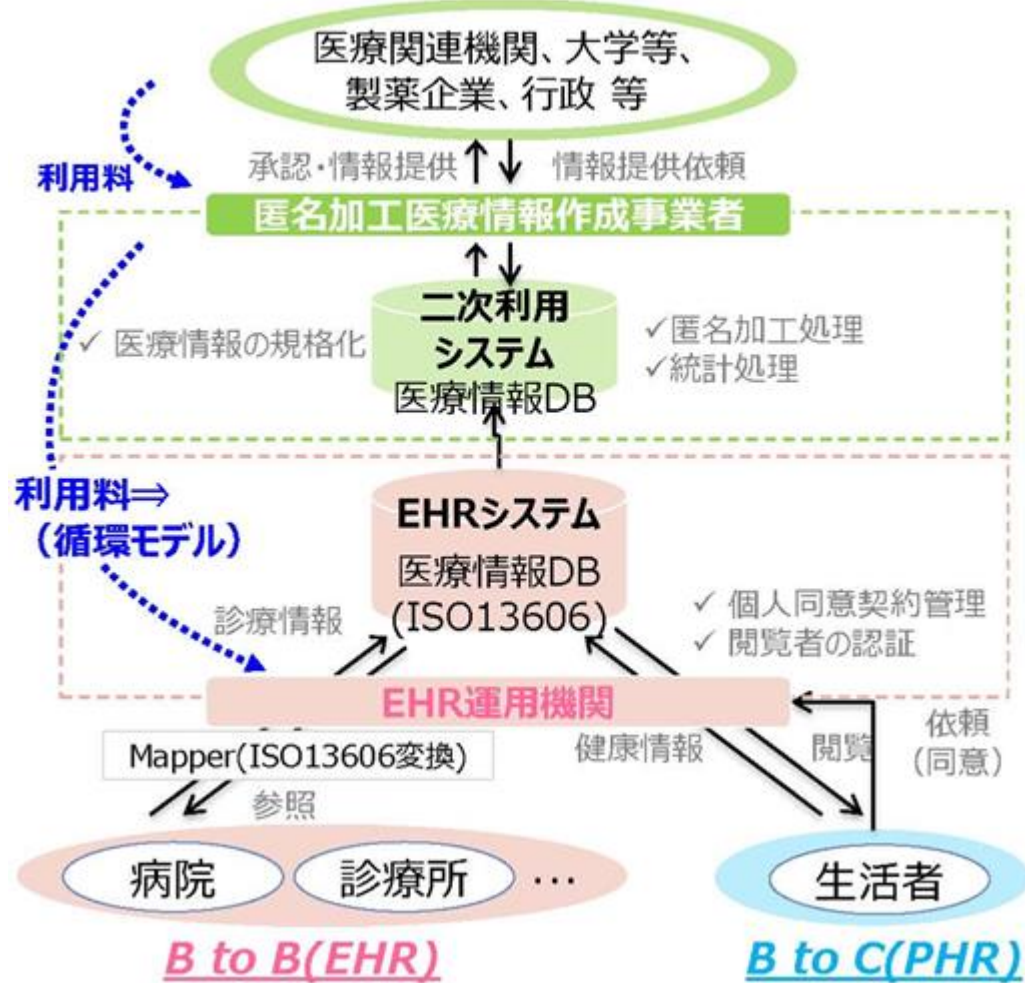
健康医療情報にフォーカスしたデザインファーム



利活用が機能する事業形態



B to R データ利活用



特定非営利活動法人
MedXML
CONSORTIUM



- 一方通行で終わらない
 - 『取得したデータ』からの利活用は著しく限定的

データを取得するところから利活用が始まる

すでにある電子カルテデータ等は, 「データの取得」を多少楽にする程度の存在

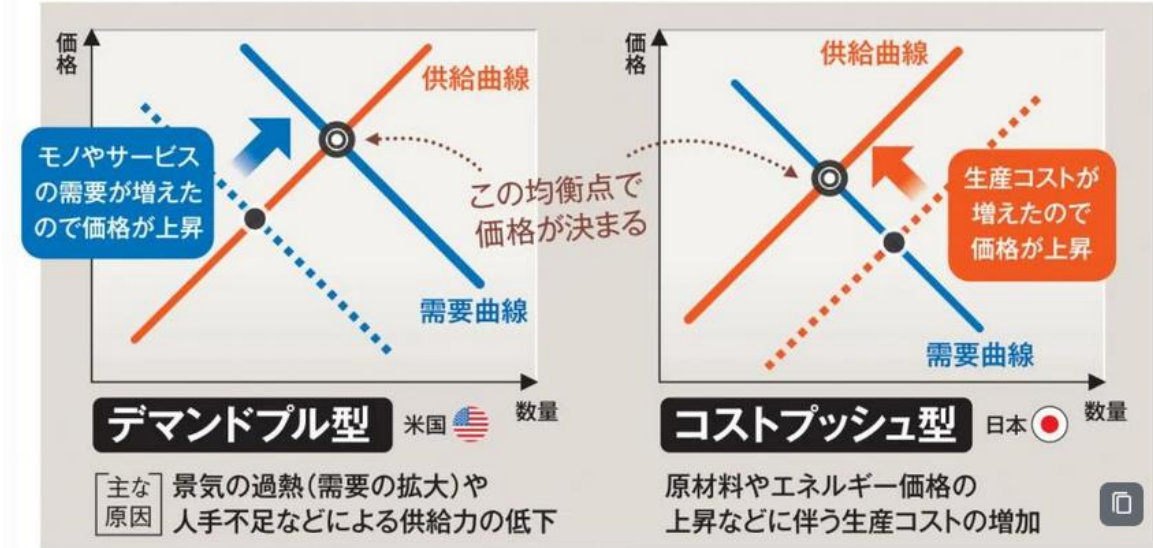
データの標準化の文脈からも, 「由来情報」をどのように扱うかが「利用できるデータ」の可否を左右する

医療情報の利活用とは, データを掘るビジネス

筆者：大西洋平

AERA

米国と日本ではインフレの質が違う



AERA 2022年5月23日号より

最近やっていたこと

二次利用促進で Demand Pull するしか...



- データの量をふやす

- 収集営業
- ネットワーク効果

← 次世代医療基盤法に限定すれば

- オプトアウト手続き, 死者情報
- 収集前オプトアウト → 利活用時オプトアウト

- データの質を上げる

- 質を評価できる人の配置
- データソースとの良好な関係
- お金 (対EMRベンダー等)
- データ運用技術の蓄積 (分析能力)

- 利活用者を増やす

- 適正価格 vs 量*質
- 利用までの手続きコスト削減 (制度由来)
- データ利用の高速化 (分析プロセス由来)

LDI社からデータを買ってみた (Demand pull)



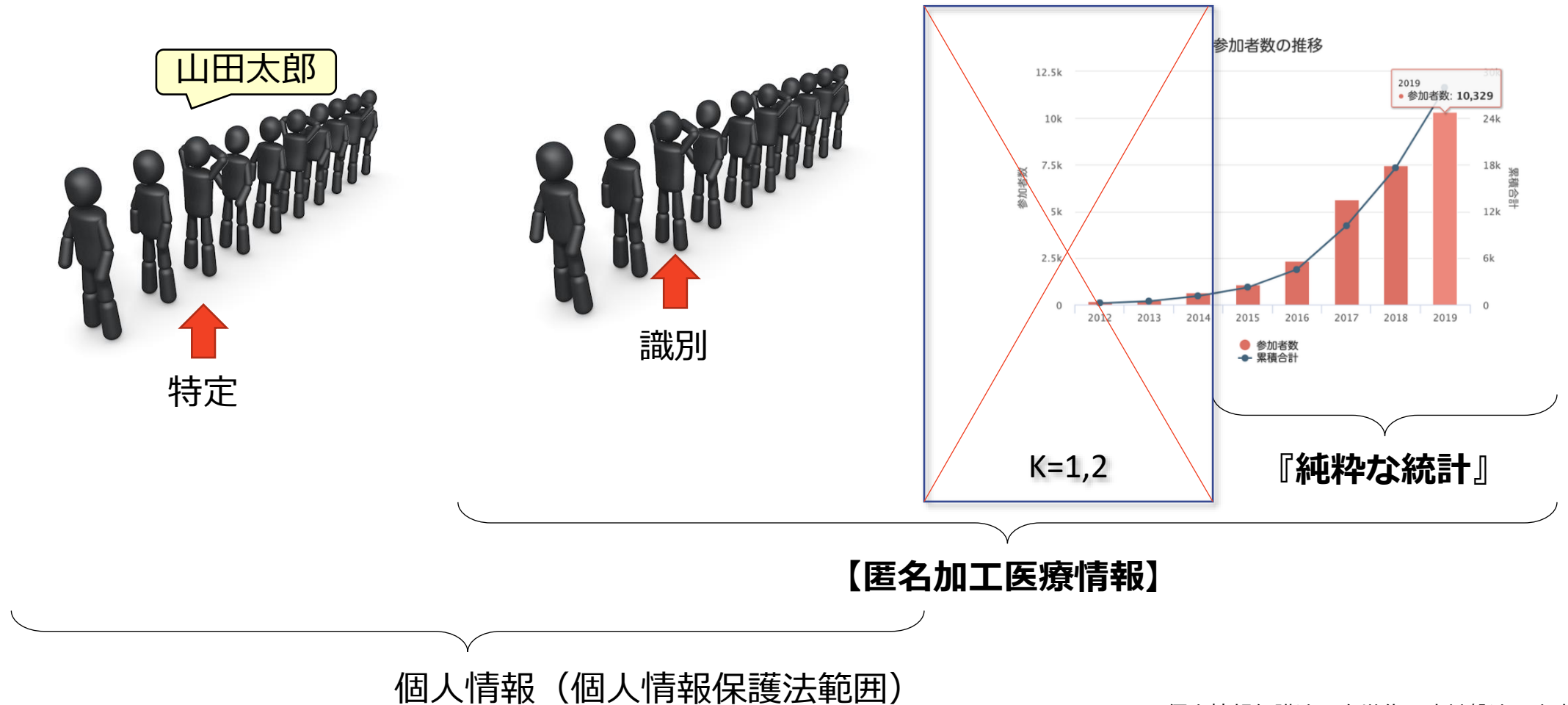
- **2021.03.29** 必要書類準備
- 2021.04.20 確認事項調整
- **2021.05.26** 利用目的委員会説明
- 2021.05.26 LDI_見積書_検査値の施設別統計_匿名加工医療情報提供
使用許諾契約書.pdf
- **2021.07.01** ldi-ehr 使用許諾契約書
- 2021.07.08--09.08 出力仕様調整 (匿名加工仕様)
 - 2021.10.18 ~仕様修正
- 2021.07.13 納品0 #hosp_01
- **2021.09.10** 納品1 #hosp_23
- 2021.12.24 納品2 #hosp_29
- 2022.03.11 納品3 #hosp_30
- 2022.06.xx 納品4 (最終) 施設追加 #hosp_XX (予定)

• 一般的な理解として

- 【匿名加工医療情報】
 - 個人を識別し, さらに特定されることのないように匿名加工した医療情報
- 【統計情報】
 - ある集団を時間、地域などの一定の条件下で調べ、この結果を集計、加工して得られた数値



- 次世代医療基盤法下での理解として
 - 「統計情報は匿名加工医療情報の一部に含まれる」





- NTT-Data

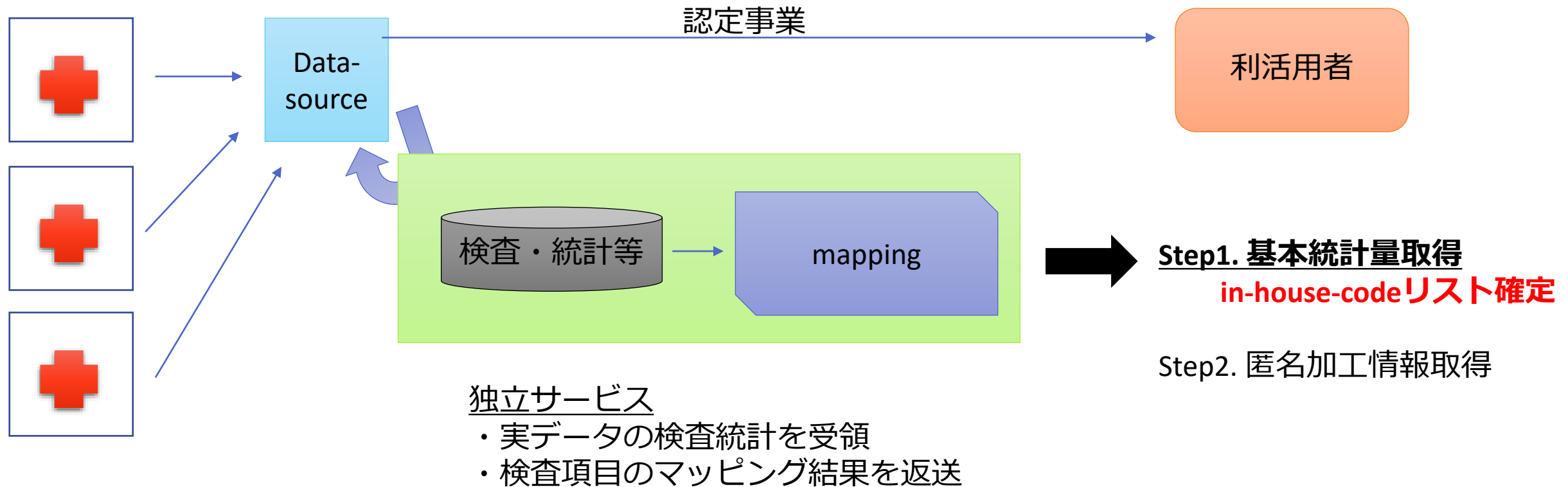
- 認定事業
 - 匿名加工

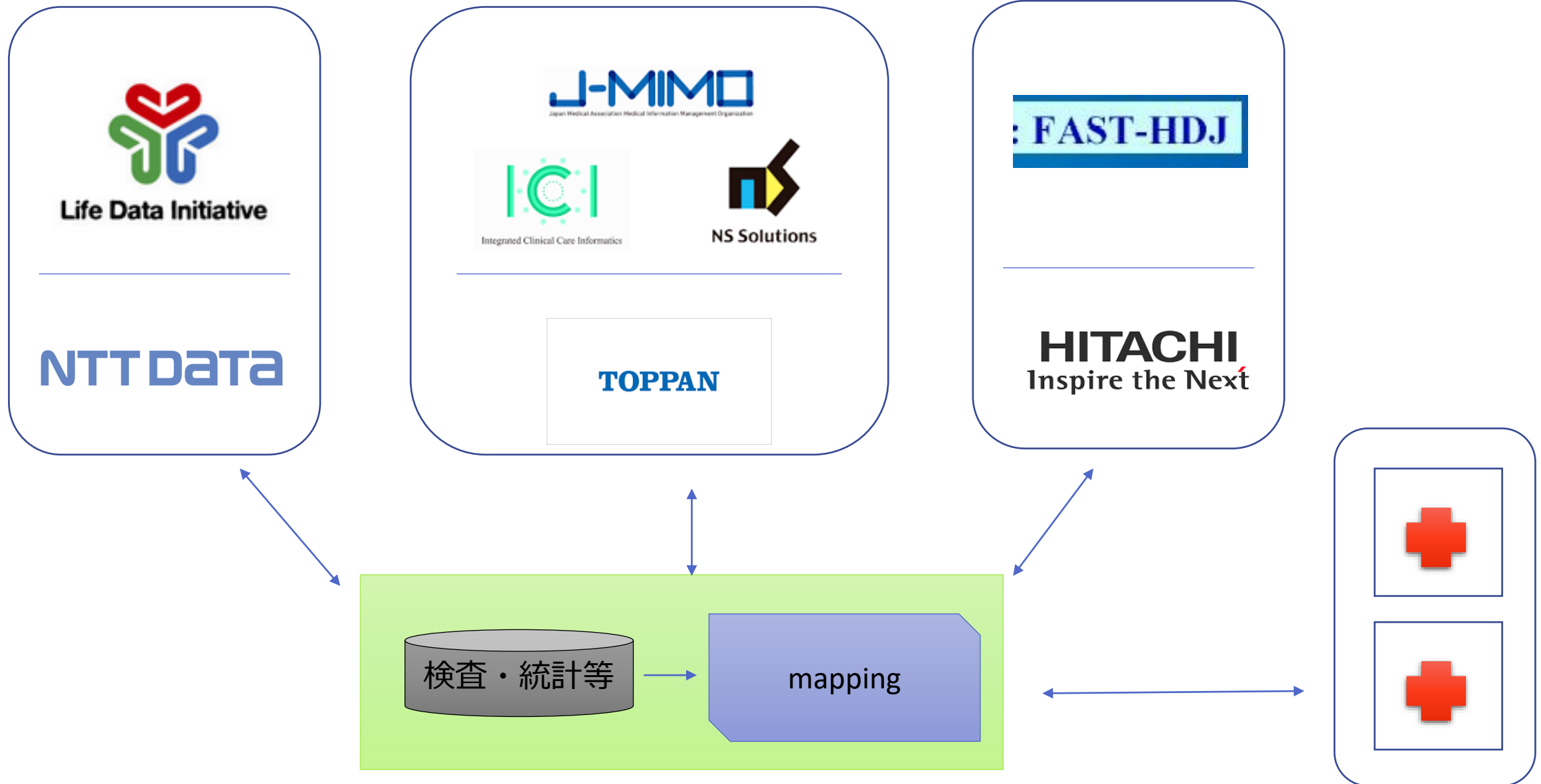
- SRL, H.U.グループ

- 共通検査マスタ整備
 - 半自動マスタ作成

- GSK

- 臨床研究（事例）
- データカタログ作成

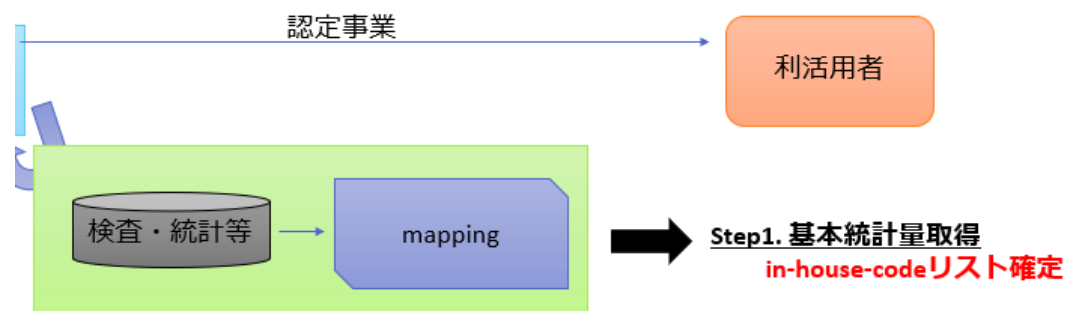






- SRL, H.U.グループ
 - 共通検査マスタ整備
 - 半自動マスタ作成

- GSK
 - 臨床研究（事例）
 - データカタログ作成



検査結果データの可視化分析



その他

デジタル地政学

コロナ後のブルーオーシャンを目指して

一般財団法人 国際経済連携推進センター 編

産経新聞出版

和書 ▾ 書籍名、キーワード



詳細

和書

電子書籍

電子洋書
洋書・洋古書

雑誌
海外マガジン

DVD・CD

文具・雑貨
特選品

ベストセラー

会社案内

ホーム > 和書 > 教養 > ノンフィクション > オピニオン



個数:

カートに入れる

ほしいものに登録する

店舗の在庫を調べる

デジタル地政学—コロナ後のブルーオーシャンを目指して

国際経済連携推進センター【編】

著者名をお気に入りに登録する

価格 **¥1,980** (本体¥1,800)
産経新聞出版 (2022/03発売)
ポイント 18pt

ウェブストアに13冊在庫がございます。(2022年05月20日 13時36分現在)
通常、ご注文翌日~2日後に出荷されます。

出荷予定日とご注意事項

※上記を必ずご確認ください

●店舗受取サービス(送料無料)もご利用いただけます。
ご注文ステップ「お届け先情報設定」にてお受け取り店をご指定ください。尚、受取店舗限定の特典はお付けできません。詳細はこちら

サイズ A5判/ページ数 181p/高さ 21cm
商品コード 9784863061606
NDC分類 007.3
Cコード C0095

内容説明

「DFFT=信頼ある自由なデータ流通」の確立を目指して。新型コロナ発生後の新たな国際経済の方向性を論ずるにあたり、データの「資源」としての意味と、そのために必要なルール作りとは何かを問う。



Question?

Naoto KUME, kume@kuhp.kyoto-u.ac.jp, Kyoto University